



# 野崎小だより 11月号

令和3年 11月 1日 和歌山市立野崎小学校



## 「子供たちの成長を実感する秋」

校長 川本 智之

秋から冬の空気に変わり、朝晩、肌寒さを感じる頃となりました。学校の南門にあるイチョウの木も銀杏の実を落とし、葉も黄色く色づき始めています。気がつけば、もう11月、いよいよ冬の足音が聞こえてきました。

10月3日に発生した、六十谷水管橋破損による断水により、大変ご不便な生活を送られ、お疲れのことと存じます。心よりお見舞い申し上げます。同時に学校内で漏水もあり、大変ご迷惑をおかけいたしました。

今回の件で、改めて災害は突然起こり、生活用水としての水の大切さを痛感しました。そんな中、子どもたちも家族の一員として、小学校で給水作業のお手伝いをする姿を見かけました。重い水を運ぶ姿は、とても立派でした。

先月は、運動会、修学旅行や遠足など、子どもたちにとって思い出に残るたくさんの行事を行いました。運動会は、午前中のみで開催でしたが、子どもたちは全力で走り、可愛くまた力強くダンスを披露しました。大きなご声援ありがとうございました。修学旅行では、紀南方面へ行ってきました。那智の大滝や熊野三山、串本の多くの魚やきれいな海など、ふるさと和歌山の雄大な自然と歴史文化を再発見しました。また、旅館での友だちとの時間、リゾートホテルでのバイキングなど、多くの貴重な体験を通して、素敵な思い出を作ることができました。また、文化芸術鑑賞（文化庁巡回公演事業）として、カルティベートによる『現代舞踊ヒップホップダンス』を鑑賞しました。日本のトップダンサーによる迫力満点のダンスを見て、一緒に曲に合わせて体全体で表現しました。格好よく踊るには、まだまだ練習が必要ですが、音楽にあわせて体を動かし、とても楽しい時間を過ごすことができました。

これら様々な行事をとおして見えた、子どもたちの集中した真剣な表情、一生懸命な姿、友だちと協力する楽しそうな笑顔など、輝いた素敵な一コマがたくさんありました。老子の言葉に、「聞いたことは忘れる。見たことは覚える。やったこと（体験したこと）は分かる。」があります。子どもたちは、様々な実体験をすることで興味関心を持ち、「なぜ、どうして」と考えを深め、学びへの歩みを進めていきます。

ご家庭でも、ご多用でお疲れのことと存じますが、学校での活動で感じたことや発見したことなど話を聞いてあげてください。よろしく申し上げます。

# 11月の行事予定 ～学校開放月間～

※行事はやむを得ず変更になる場合もあります。ご了承ください。

家庭数

日	曜日	学校行事（育友会行事を含む）
1	月	セーフティネットの日、登校指導、あいさつ運動、安全点検、フォローアップ
2	火	不審者対応避難訓練、ろう学校出前授業（3年）、ぶくぶくタイム、家庭科ゲストティーチャー（5年）、下校指導
3	水	文化の日
4	木	いじめなくそうデー、教育相談、フォローアップ
5	金	「世界津波の日」地震・津波避難訓練
6	土	育友会スポーツ大会
8	月	歯科健診（1～3年）、日本製鉄出前授業（5年）、フォローアップ
9	火	ぶくぶくタイム
10	水	【短縮校時】委員会（5・6年）
11	木	河北地区子どもを育てる協議会登校指導、喫煙防止教室（4年）、フォローアップ
12	金	歯科健診（4～6年）
13	土	【短縮校時】土曜参観、教育講演会
15	月	振替休業日
16	火	登下校指導、あいさつ運動、ぶくぶくタイム
17	水	【短縮校時】クラブ（4～6年）
18	木	教育相談、フォローアップ
22	月	フォローアップ
23	火	勤労感謝の日
24	水	【木曜日の校時】ぶくぶくタイム、フォローアップ
25	木	【水曜日の校時】全校草引き、6年1組研究授業
26	金	A L T
29	月	全校草引き、フォローアップ
30	火	ぶくぶくタイム

11月4日(木)まで、  
給食室工事のため  
給食休止

～12月主な予定～  
12月24日（金）終業式  
12月25日（土）冬休み  
（1月5日（水）まで）

## 11月13日（土）10：30～11：50 教育講演会

『現代の子どものトリセツ ～SSWの関わりから～』

講師：和歌山市スクールソーシャルワーカー 西園円香先生』

11月は学校開放月間で、13日（土）には土曜参観と教育講演会があります。

授業参観は、地区ごとに分散しての参観（D・E・F・G地区8：45～9：30、A・B・C・H地区9：35～10：20）となりますが、ぜひその後の教育講演会にもお越しいただきたく、再度お知らせいたします。

講師先生は、スクールソーシャルワーカー（SSW）の西園円香先生です。野崎小学校を含む複数の小中学校を担当し、日々、学校や行政・医療機関・福祉機関など様々な人・機関と連携し、児童と家庭のより良い生活を支えてくださっている先生です。子どもたちとの関わり方について、保護者の方のお役に立てる話をしてくださることと思います。